

令和7年度第2回国立市学校給食運営審議会議事録

1. 日時 令和7年9月25日(木)午後2時から午後3時40分まで
2. 会場 くにたち食育推進・給食ステーション会議室
3. 出席者 **【委員】**
小畑会長、藤村副会長、藤田委員、上野委員、田中委員、市田委員、
中山委員、宿利委員、中島委員、笠井委員、二俣委員、栗原委員、木曾委員、
青木委員、堀端委員(15名)
【事務局】
伊形食育推進・給食ステーション所長、久保所長補佐、長野主査、岩田主査
津田統括責任者、乾調理責任者、善当アレルギー対応責任者兼食品衛生責任者
4. 欠席者 山浦委員、里道委員、鎌田委員
5. 傍聴者 なし
6. 配布資料
(1) 令和7年度事業報告(令和7年6月26日から9月24日まで)
(2) 令和7年度学校給食費決算報告書
(3) 令和7年度学校給食運営審議会視察候補一覧
7. 内容

議事に入る前、会長より議事録について、第1回及び今後の会議議事録については要旨としてまとめたものを残すことでどうかと提案があり、出席者全員に了承された。第1回要旨案については後日事務局よりメールで確認を行うこととした。

議題

(1) 事業報告について

事務局から配布資料に基づき、説明を行った。

【質疑応答要旨】

- 配布資料にある物資納入選定委員会について、開催の頻度とどういった内容なのかを伺いたい。(三小市田委員)
- 物資納入選定委員会は、翌月の献立に使う物資の選定を保護者を含む委員の方々の立ち会いの元で入札を行うものである。食材によってはサンプルを業者に提出してもらい、栄養士が委員に説明も行う。給食実施月の前月に開催するので年11回。内容は、献立に使う食材について入札を行うもの。委員構成メンバーは市立学校長1名、学校給食主任の先生が2名、各校保護者11名で、各校代表については学校に依頼して選出してもらっている。(事務局)
- カムカムキッチン体験ツアーの機会増を目的に、夏休みだけではなく春休み等の他の長い休みにも実施できないか検討していただきたい。(三小市田委員)
- 実施については事業者と検討させていただきたい。(事務局)(A/I ~次回審議会)

(2) 学校給食費の収支状況について

事務局から配布資料に基づき、説明を行った。

監査委員から監査報告があった。

【質疑応答要旨】

- 予算計画に対する執行状況を把握したい。例えば、予算の執行計画があれば、予算の執行計画に対する執行状況をグラフ等で見える化できないか検討していただきたい。(三小市田委員)
- 厳密な執行計画というものはなく、年度全体で収支のバランスを見ながら調整している。来年度、給食費を公会計化すると予算は議会でチェックされるので、より透明性が確保されると考えている。次回会議で執行状況のグラフ化ができるかは検討する。(事務局) (A/I ~次回審議会)
- 現在国立市は児童生徒の給食費は無償化になっているので、現年給食費の未収入額とはどういうものなのか。2点目、一食当たりの給食実費を表示してはどうか。そうすれば実際の給食費よりも高いのか低いのか分かりやすくなるのでは。3点目、主食は基本的に1つしか献立の中で使わないので、回数もあると多い少ないが分かりやすいのではないか。4点目、基本的には過年度の収納率は低いですが、高い年もあった。何か効果的なアプローチ方法などがあれば教えてほしい。(堀端委員)
- 1点目は、教職員で支払いが遅れている方がいるため。ただし、例年年度末には教職員は100%収納している。2点目、3点目については今後表示していきたい。4点目、収納率が高かった時の理由は分析できていない。過去の未納者については電話や手紙も通じなくなっていることが多く、苦慮している。(事務局) (A/I ~2学期収支状況報告)
- 1点目は、教員の支払いを現金徴収から自動徴収(口座振替等)するようにはできないのか。(三小市田委員)
- 口座振替について、取扱金融機関がなかったり、登録エラーなどで時間がかかってしまい結果的に収納できていない状態が続くということもある。今後の改善を期待したい。(小畑会長)
- 無償化しているので過年度給食費の滞納については今後なくなっていくのではないか。(堀端委員)
- その想定である。補足すると、時効により市内在住者は10年、市外転出者は5年経過すると債権が消滅することで運用している。現年度は児童生徒は無償化なので基本的には100%収納し、教職員も100%収納なので、今後は過年度の債権が時効によって消滅していく見込みである。(事務局)

(3) 視察研修について

事務局から配布資料に基づき、各視察先の説明を行った。その中で、小平と福生に関しては次回審議会開催日の11月20日では受け入れが難しいことや、福生と武蔵村山は一般向けには試食を実施

していないが行政視察としてなら試食可能であることを説明した。

【質疑応答要旨】

- 視察に行く意義やどういう基準で施設を選ぶのが良いのか、過去の経緯を踏まえた考え方等があれば伺いたい。国立との比較で規模的には小平がちょうどいいと思うが、過去の課題解決のためにこういう施設を見に行くべきなどがあるのか、一通り見たのでどこでもいいのか、その辺りを具体的に教えていただきたい。(三小市田委員)
- 過去の経緯からは比較的、当時の新しい施設を見ることが多いが、国立市と規模が似ているところを見て参考にするのがよいと考える。また、建て替え以前は建て替えを意識した視察先が多かった。(事務局)
- 私は小平と福生を希望した。府中は過去に行っているので行かなくてもいいのでは。以前委員をしたときに視察に行った多摩市と稲城市について、やり方を参考に保護者と地域の方が一緒になって子供たちと作物を育てて収穫し、調理して食べる取り組みを国立でも行えたり、一般見学不可の場所を見学できたり、SNS の活用方法の参考になったりした。小平と福生は、国立と同規模なので参考になる部分が多いのでは。(二小田中委員)
- 当日ステーションの集合時間に来られない場合、現地に直接向かってもいいか。(八小笠井委員)
- これまではそういった事例は無く、基本的にはステーションに集合してもらいたいが、個別の相談とさせていただきたい。おおよそ朝 9 時に集合する予定だが、行先が決まれば詳細なタイムスケジュールをお伝えする。(事務局)
- 復路の途中で降ろしてもらうことはできるのか。ステーションまで来ると家に戻るのが大変なので。(四小中山委員)
- こちらも個別に相談させていただきたい。(事務局)
- 過去の視察研修では山梨や群馬まで行っているが、これは何か理由があったのか。(三小市田委員)
- 過去には建て替えを意識していて、近隣に参考施設がなかったので遠出したと考えられる。(事務局)
- 情報提供として。福生市は財政状況が良く、肝いりでかなりお金をかけてセンターを作ったため、多くの行政視察があった。その中で、武蔵村山も同様の施設を建設したと聞いている。府中市も PFI で運営しており、財政的にも潤沢。調理場を 1 階と 3 階に分けて、水漏れのトラブルがあっても 2 階をクッションにしてリスク回避している。(堀端委員)

ここで、意見も出揃い、時間も残り少ないため挙手による多数決を取ることとなった。

投票結果：小平市 6 票、福生市 1 票、府中市 3 票、武蔵村山市 4 票

以上により、視察先は小平市に決定。日程は後日調整することとした。

(4) その他

【質疑要旨】

- 前回審議会で牛乳とごはんが結構残ると聞き、一小 3 年生と 5 年生と保護者に意見を聞いたので情報共有したい。
牛乳について、低温殺菌牛乳でも味が変わらないという子もいれば、味が違っておいしいという子もいればおいしくないという子もいる。また、保護者からは低温殺菌の分だけコストがかかっているのだから、普通の牛乳にして浮いたコスト分をおかずに振り向けてはどうかという意見もあった。ごはんについて、ビビンバ、カレー、混ぜご飯などはよく食べるが、白ご飯は配膳中に冷えて硬くなっておいしくなくなり、食缶に戻す子が多いそう。柔らかめに炊飯してはどうか。
また、子持ちシシヤモより普通のシシヤモがいいという意見があった。栄養面で子持ちでなくてもよければ検討してほしいと少数意見ではあるが共有したい。(一小上野委員)
- 混ぜご飯が味がついてて人気があるという意見の一方で、一中では塩気が少なく微妙な味付けになるからいっそ混ぜないでほしいという意見の方が多かった。(一中二俣委員)
- 3 点、確認させていただく。1 点目は、前回の議事録に、調理場見学を実施したことを残してほしいという要望を出したがどうなったか。2 点目は、視察日程の繰り上げ理由を再確認させていただきたい。もし日程調整して行けない人がいるならば繰り上げ理由によっては元々の日程でも良いと考える。3 点目は、ペーパーレスの取り組みについてで、資料は毎回紙配布されるが事前に電子ファイルで送付されているので、自前の端末がある人は持参してその人は紙配布なしとしても良いと考えるがどうか。(三小市田委員)
- 1 点目は議事録に残させていただく。前回は審議会終了後だったが、今後は審議会の中で見学を行えば議事録に残るので実施方法を検討したい。2 点目は、視察を行うと委員同士の懇親が深まるので早めの実施にしたいという意見を前審議会委員からいただいたため。3 点目、市役所ではペーパーレス化が非常に遅れていて、審議会で各委員に端末を用意したいが現状では難しい。自前の端末を持ってきてもらえるならばありがたいので、今後紙と電子どちらかを選んでいただく形で事務局からも提案させていただきたい。(事務局)
- 紙の削減案として、席次表は必要なのか。作成は大変じゃないのか。(四小中山委員)
- 作成はそれほど手間ではないが、不要ということであれば今後は省略させていただく。(事務局)

以上